



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社オートウェーブ 上場取引所 東
 コード番号 2666 URL http://www.auto-wave.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣岡 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 廣岡 勝征 TEL 043-250-2669
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,652	—	86	—	148	—	92	—
2022年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	6.40	—
2022年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2022年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年3月期第2四半期の経営成績 (累計) 及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,397	3,512	47.5
2022年3月期	7,570	3,449	45.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,512百万円 2022年3月期 3,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,675	3.4	247	66.0	360	46.4	221	57.1	15.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	14,451,000株	2022年3月期	14,451,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	211株	2022年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	14,450,789株	2022年3月期2Q	14,450,789株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、当社の連結子会社であったCFC U.S.A., INC. が前事業年度に清算手続きを開始したことにより、重要性が乏しくなったため連結の範囲から除外し、第1四半期累計期間より非連結決算へ移行しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らいでいくなかで、経済活動再開の動きがあり景気の持ち直しが期待されているものの、原油価格高騰や半導体の供給不足、あらゆる業界において緩やかなインフレーションが進行しつつあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社では、お客様と店舗スタッフの安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症拡大の予防措置を講じながら、新規顧客の獲得と更なる顧客サービスの向上に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間における車関連事業につきましては、基軸部門であるタイヤ・車検を中心に堅調に推移しました。中でもタイヤ部門につきましては、タイヤメーカーの価格改定を前に積極的な営業活動を行ったことが功を奏し、値上げ前の顧客ニーズを取り込むことで計画を大きく上回る結果となりました。

また、新たな取り組みとしては、高齢化社会のニーズに対応するために、福祉車両の取り扱いを開始しました。車両の整備は勿論のこと、福祉車両アドバイザーの資格を有する専門スタッフが、介助されるお客様の状況に合わせた車両の適正判断やアドバイスを行う体制を整備しました。

業務スーパー事業につきましては、千葉県いすみ市へ4店舗目となる「業務スーパーいすみ大原店」を7月7日にオープンいたしました。予想をはるかに上回るお客様のご支持を集めることができ、好調なスタートをきることができました。当第2四半期累計期間における業務スーパー事業については、既存店舗が継続して順調に推移したことや、いすみ大原店がお客様からご好評をいただいたことで、計画を大きく上回る結果となりました。

また、新たな店舗展開といたしましては、千葉縣市原市へ5店舗目となる「業務スーパー上総牛久店(10月27日オープン)」の出店に伴い、株式会社神戸物産とフランチャイズ契約を締結しました。今後も株式会社神戸物産や関係取引先と緊密に連携しながら出店候補物件の調査・選定を継続し、業務スーパーの積極的な出店を視野に成長エンジンとして更なる強化を図ってまいります。

引き続き異業種との店舗複合化を推進することで、新たな客層の来店促進や、土地の有効活用による収益基盤の強化を図ってまいります。

以上の結果、当社の当第2四半期累計期間における売上高は3,652百万円、営業利益は86百万円、経常利益は148百万円、四半期純利益は92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は7,397百万円と前事業年度末比173百万円(2.3%)の減少となりました。負債は3,884百万円となり、前事業年度末比237百万円(5.8%)の減少、純資産は3,512百万円で、前事業年度末比63百万円(1.8%)の増加となりました。この結果、自己資本比率は、前事業年度末比1.9ポイント増の47.5%となりました。

前第2四半期累計期間は連結キャッシュ・フロー計算書を作成し、キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、531百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、55百万円となりました。資金の主な増加項目は、税引前四半期純利益145百万円、減価償却費101百万円であり、資金の主な減少項目は、棚卸資産の増加額127百万円、法人税等の支払額89百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、108百万円となりました。資金の主な減少項目は、有形固定資産の取得による支出58百万円、預り保証金の返還による支出37百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、179百万円となりました。資金の主な減少項目は、長期借入金の返済による支出151百万円、配当金の支払額28百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本日(2022年11月11日)公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	764,185	531,633
売掛金	302,259	250,722
商品及び製品	403,420	531,217
その他	361,214	355,601
貸倒引当金	△1,389	△1,357
流動資産合計	1,829,689	1,667,817
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,012,766	1,978,013
土地	2,512,186	2,512,186
その他(純額)	334,603	349,472
有形固定資産合計	4,859,555	4,839,671
無形固定資産	36,940	32,110
投資その他の資産		
敷金及び保証金	805,283	816,226
その他	41,570	43,430
貸倒引当金	△2,374	△2,059
投資その他の資産合計	844,479	857,597
固定資産合計	5,740,975	5,729,379
資産合計	7,570,665	7,397,197
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,785	268,035
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	251,000	200,000
未払法人税等	89,311	49,603
その他	631,731	576,740
流動負債合計	1,598,828	1,494,379
固定負債		
長期借入金	1,584,000	1,484,000
長期預り保証金	530,744	493,300
資産除去債務	379,509	385,787
その他	28,485	27,083
固定負債合計	2,522,739	2,390,172
負債合計	4,121,567	3,884,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,505,877	2,505,877
利益剰余金	843,376	906,924
自己株式	△155	△155
株主資本合計	3,449,098	3,512,646
純資産合計	3,449,098	3,512,646
負債純資産合計	7,570,665	7,397,197

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,652,874
売上原価	2,420,378
売上総利益	1,232,496
販売費及び一般管理費	1,146,053
営業利益	86,442
営業外収益	
受取手数料	47,204
廃棄物リサイクル収入	10,445
その他	18,573
営業外収益合計	76,223
営業外費用	
支払利息	13,076
その他	1,170
営業外費用合計	14,246
経常利益	148,419
特別損失	
固定資産除却損	2,887
特別損失合計	2,887
税引前四半期純利益	145,532
法人税、住民税及び事業税	49,607
法人税等調整額	3,475
法人税等合計	53,082
四半期純利益	92,449

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	145,532
減価償却費	101,438
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△346
受取利息及び受取配当金	228
支払利息	13,076
契約負債の増減額(△は減少)	△15,465
売上債権の増減額(△は増加)	51,537
棚卸資産の増減額(△は増加)	△127,987
仕入債務の増減額(△は減少)	41,249
未払費用の増減額(△は減少)	△4,517
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,155
前受金の増減額(△は減少)	△4,877
営業保証金の増減額(△は増加)	△3,071
その他	△3,449
小計	158,191
利息及び配当金の受取額	△229
利息の支払額	△13,081
法人税等の支払額	△89,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△58,587
無形固定資産の取得による支出	△1,377
固定資産の除却による支出	△2,838
敷金及び保証金の差入による支出	△12,110
預り保証金の返還による支出	△37,443
その他	3,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△151,000
配当金の支払額	△28,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△232,551
現金及び現金同等物の期首残高	764,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	531,633

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社は店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。